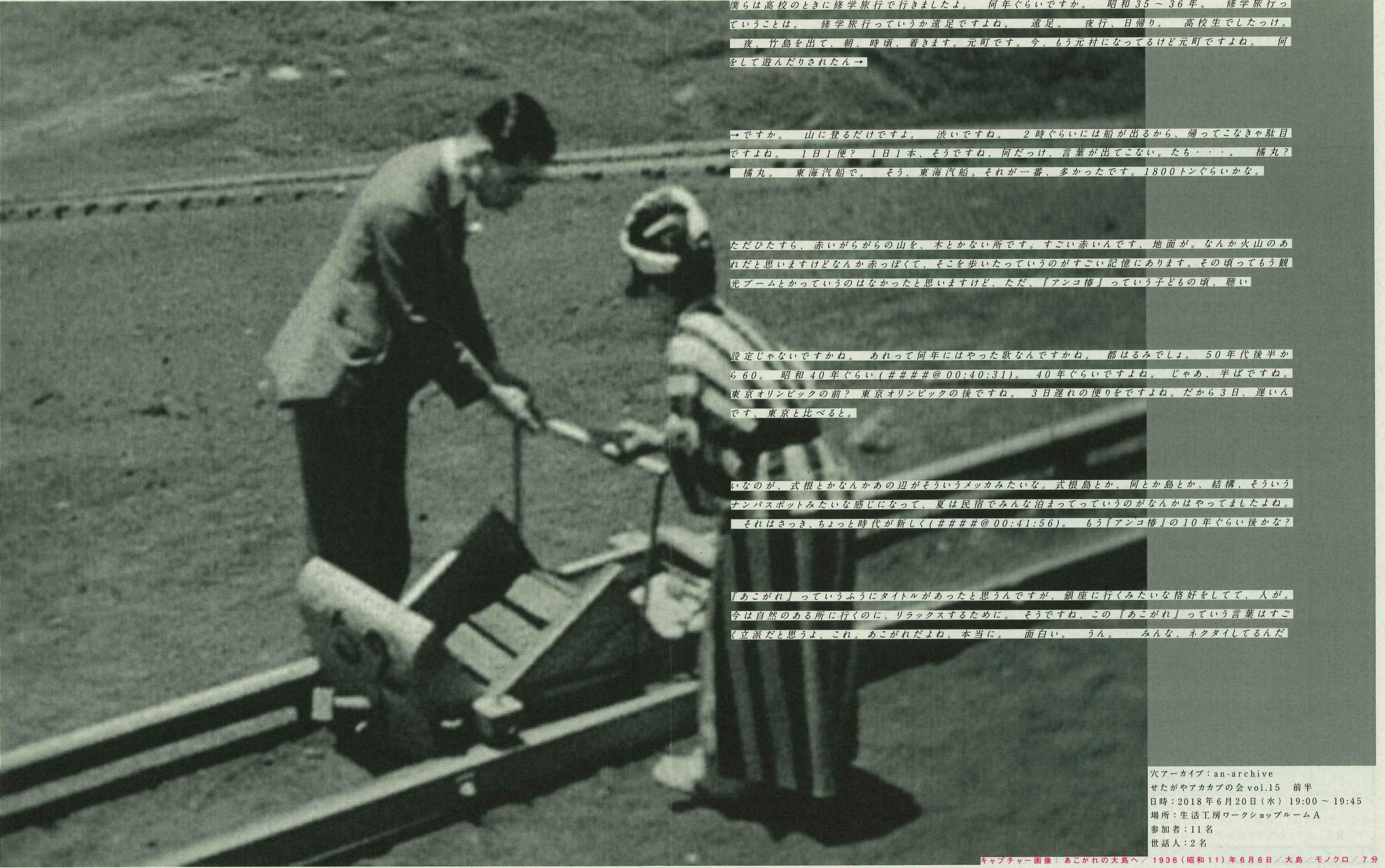


かぶうぐりやまももうなぎ、

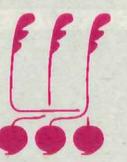
アカガブの会の記録

100

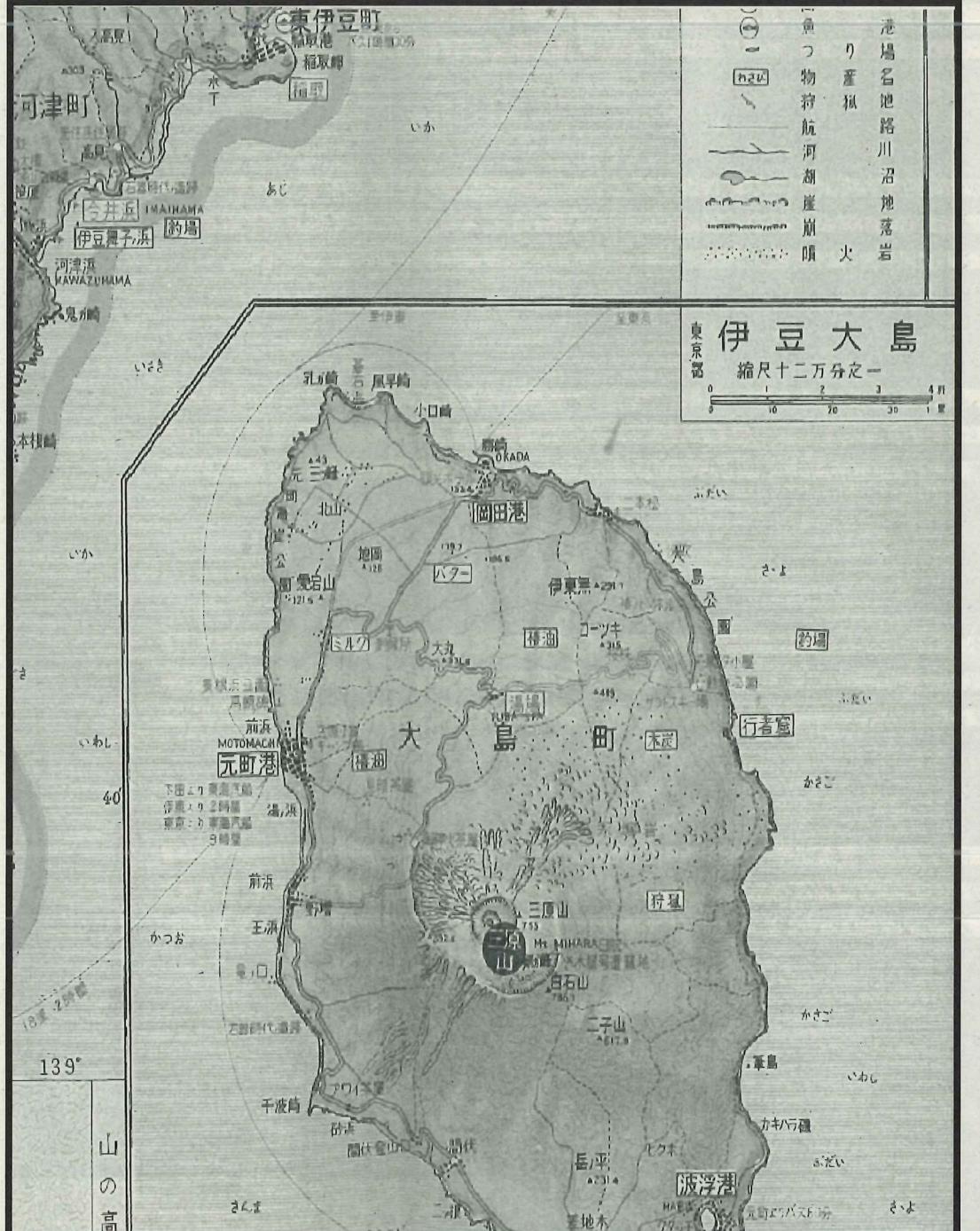


穴アーカイブ  
an-archive

記録を残すという営みを、記録が残らないこと、すなわち、記録の不在（穴）から捉え直す反（an）アーカイブ的アーカイブの試み。昭和30～50年代にかけて市販された8ミリフィルムという映像メディアに着目し、世田谷のまち、ひと、くらしに光をあてる。2015年から始動。



せたがやアカカブの会 : The setagaya akakawa circle  
穴アーカイブにおいてデジタル化した映像を、じっくり観ながら語り合う小さな集いの場。ほぼ隔月で開催。開催予定、上映内容は、生活工房HPまたはくお問い合わせからご確認下さい。一見さん大歓迎。本誌くかぶうずら、やまいもうなぎは、当会の断片的・公式活動記録。



伊豆の旅を誇る観光地図の中に、伊豆大島の地図を発見。裏面解説によると東京・竹芝を深夜に出発し、大島の港に着くのは朝。「御神火」（噴火）と「島娘」で異彩を放つ、気候常夏の島。乳牛の飼育が盛んで牛乳風呂、バター製造、つばき油等の特産物があり、東洋一のホルスタイン島と呼ばれていたそう。

地図資料：伊豆の旅 国立公園・伊豆半島：観光案内図 観光展望社 制作年代不明

朝日新聞社は1930年から、全国の小学6年生を対象に「日本一の健康な児童」を表彰する健康優良児表彰事業を始めました。ある研究によると、これは当時都市部のサラリーマン層を中心とした子どもの健康に対する関心の高まりを背景に始まったもので、健康優良児は、身体だけでなく知能や精神面でも優れている「理想的な子ども」のシンボルだったそうです。健康優良児という言葉はここから広まったといわれています。この表彰事業は、戦争を挟んで1978年まで続けられました。（参考：石岡学「理想の子ども」としての健康優良児—新聞報道における健康優良児のイメージ』『教育会学研究』75巻、2004年）

出典：東京朝日新聞（朝刊） 1936（昭和11）年6月25日（水） 第9面



かぶうずら、やまいもうなぎ アカカブの会の記録 2018 no.1  
発行日：2018年8月23日

お問い合わせ：生活工房 03-5432-1543 info@setagaya-ldc.net  
編集：せたがやアカカブの会世話人（松本篤、八木寛之、成田海波、ブルサコワありな）  
主催・発行：公益財団法人せたがや文化財団 生活工房  
〒154-0004 東京都世田谷区太子堂4-1-1 キャロットタワー  
<http://www.setagaya-ldc.net/>  
企画制作：remo【NPO法人記録と表現とメディアのための組織】  
後援：世田谷区、世田谷区教育委員会

本誌の無断転写、複製、転載を禁じます。

世田谷文化生活情報センター  
生活工房  
Lifestyle Design Center